



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年11月19日 第895号「週刊五十嵐レポート」

結果にコミット、できなくなった

11月17日(土)日経新聞マーケット欄の銘柄診断はライザップグループ。16日の札証アンビシャス市場でライザップグループ株が2日連続で制限値幅の下限まで下落した。今期の連結最終損益は従来予想の159億円の黒字から一転、70億円の赤字に転落する。新規M&Aを凍結することを決め、今期に見込んでいたM&Aによる「負ののれん」計上をとりやめる。

営業利益(A) 負ののれん益(B) B/A 営業CF 配当総額(百万円)

17/3期	9,604	5,831	60.7%	176	1,542
18/3期	12,048	8,791	72.9%	88	1,861 (有価証券報告書より)

営業利益の大半を負ののれん益で占めている。買収した企業の純資産より安く購入したときに発生する差額の利益。実際に現金収入は発生していない。悪く言えば、合法的な粉飾決算。これに味を占めて、純資産は豊富で、業績不振企業を買収するようになった。営業CF(キャッシュフロー)から配当金を払うことはできない。借入金で支払っていた。19/3期は無配当に。本業のフィットネスジムは好調だが、85社の関連企業の大半が足を引っ張った。

「非関連多角化は身の破滅」とはよく言ったもの。力が分散してどれも弱くなる。狂者の戦略と言われている。昔、大企業がコングロマリット(相互に関連のない異業種部門の企業を買収し、多角的経営をいとなむ複合企業)を目指していたが、各業種・業界に強者が現れ、ことごとく消えていった。

中小企業で喩えると、多くの商品をかかえているが、強いモノがなく、どれも弱く、競争相手に負けている企業。目先の売上、目先の利益を目指すために陥りやすい失敗。核となるものがなく、迷走している状態。

歴史に学び、経験に学ぶと強い企業は、「狭く、深く」。事業を絞り、深く掘り下げる。そうすると、「強くなり、いずれ一番になる」。

強くなる、一番になるには、弱いものは切り捨てる。これがなかなかできない。売上が減るのを怖がる。ライザップグループも、弱いものを切り捨て、強いものに集中できるか。ここで決まる。

ちょっと
気になる出来事

昨年の6月から「戦略社長塾・小岩校」に通っている30代の副社長が12月に社長に就任することになった。

彼は社長の同族ではなく、一般従業員から将来の社長へと白刃の矢が立った。顧問税理士の紹介で社長になるための準備として「戦略社長塾」で経営を学び始めた。彼は1日も休まず、誰よりも早く来ていた。

そして1年半が経った。

ランチェスター「弱者の戦略」を少しずつ実践していった。今まで、地域戦略を考えたことがなかったのが、近距離営業をはじめた。新しいお客を開拓できるようになった。そして出会ったキーマンに八ガキを出すようになった。競争相手は八ガキを出すことをしないので、評判が良くなり、取引が多くなった。

実印も渡され、会社を任されるようになる。副社長と社長の差の大きさを実感する。「戦術7年、戦略15年」。勉強 体験 勉強 体験。期待しましょう。



一口メモ
知識

人生の歯車

私たちが依存するものは、酒、金儲け、仕事、賭けごと、お喋り、テレビなど、限りなくあります。

酒や賭けごとに依存するのがよくなることは、だれにもわかりません。けれども、ブランド、健康食品や読書、インターネットに依存しているかもしれません。

それが何であれ、依存すると本来なすべきことを後回しにして、「いま何をすべきか」がわからなくなるのです。人生の歯車がおかしくなるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京・小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

「戦略社長塾東京・小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

「戦略社長塾東京・銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

